



2023年11月16日

各 位

会社名 ジェイドグループ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 田中 裕輔  
(コード番号：3558 東証グロース)  
問合せ先 管理本部ディレクター 高 志成 俊  
( TEL. 03-5465-8022)

### 2023年10月度における営業利益の進捗のお知らせ

靴とファッションの通販サイト、LOCOND0.jp (<https://locondo.jp>) を運営するジェイドグループ株式会社(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：田中裕輔)は、取扱高(親子間相殺前)と営業利益の2つを重要指標として設定し、今年度の事業計画としては以下の利益増計画を掲げております。

連結取扱高：300億円～325億円(昨年比 +23%～+33%)

連結営業利益：17.5億円(昨年比 +76.5%)

そして先月10月13日、2023年度第2四半期(6月～8月)の決算発表を行い、取扱高の進捗率は43.3～46.9%、営業利益は進捗率45.6%でした。ファッション業界の特性上、当社も下期偏重であることから「順調に推移している」と発表しましたが、一部の株主様から「本当に順調なのか?本当に年度計画を実現できるのか?」と疑問の声が上がった事も事実です。

その中、第3四半期(9月～11月)の途中ではありますが、上記懸念を払しょくするため、3月～10月(8カ月間)の連結営業利益の計画進捗率が、第3四半期終了時点の目安である「75%(13.125億円)」を超過した事をご報告させていただきます。尚、あくまで監査前の速報値であるため、今後、修正される可能性がある事をご認識下さい。

今年度は、特に10月まで続いた猛暑の影響で、国内ファッション業界は苦戦を強いられており、当社も例外ではありませんでした。

しかしながら当社のB2Bプラットフォームサービス(BOEM、e-3PL、LOCOPOS、LOCOCHOC、LOCORE)を最大限に活用したReebok Japan(RBKJ株式会社)のPMI(Post Merger Integration)が順調に進んでいることから、売上が厳しい時でも利益を出せる筋肉質な収益体質が構築され、この営業利益を実現する事ができました。

今後もこの当社ならではの勝利の方程式を活用しM&Aを積極的に展開しながら、営業利益の拡大と同時に規模も拡大し、そのスケールメリットを活かしながら当社の主業であるECモール事業、特にLOCOND0.jpの有機的な成長(Organic Growth)に繋げて行く、のが「取扱高1000億円、営業利益100億円」の長期ビジョンに向けた、大まかなストーリーになります。

また積極的なM&Aにおいてはどのように資金を確保するのか?増資をするのか?という懸念の声もありましたが、第2四半期時点においても当社は35億円以上の現金を有し、銀行などの金融機関からの借入はゼロ、自己資本比率56.4%という財務体質を誇っております。

従いまして、増資をする事なく、金融機関からの借入と自己株買いで保有した自己株の活用によって、最大100億円までの投資が可能であると考えております。

今後も当社は「Make Brands Bright」のビジョンのもと、「ガンガン行こうぜ」モードで邁進します。

以上